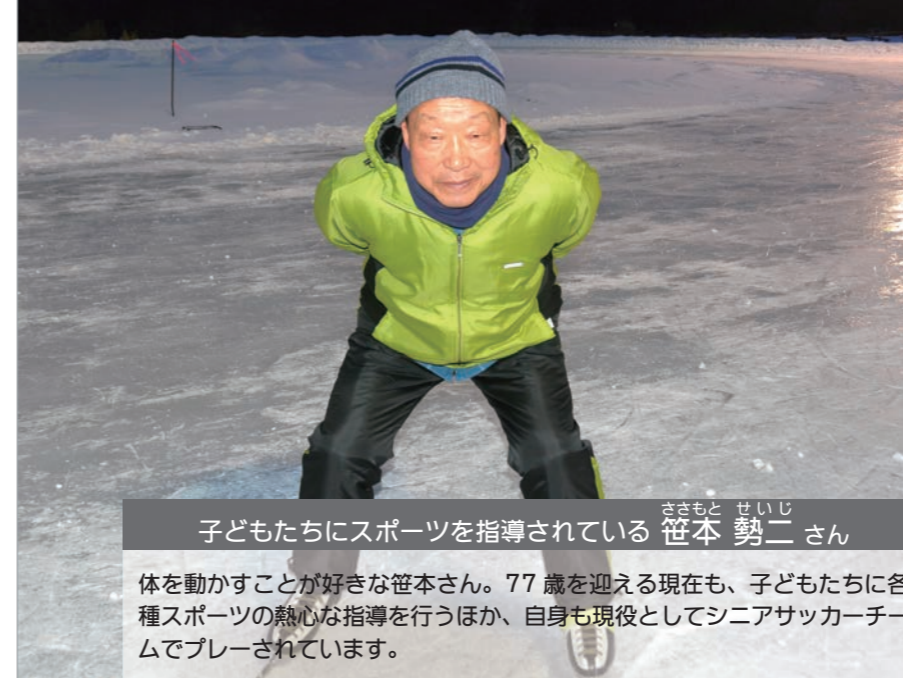


ナイス ヒト
niceな人 見つけちゃいました!

◎今月のいいね

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。
『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。

Vol.19



子どもたちにスポーツを指導されている ささと せいじ 笹本 勢二 さん

体を動かすことが好きな笹本さん。77歳を迎える現在も、子どもたちに各種スポーツの熱心な指導を行うほか、自身も現役としてシニアサッカーチームでプレーされています。

■スポーツ指導者を目指したきっかけ

幼いころから運動をして汗をかいたときの爽快感が好きで、一人でも走ったり、ボールを投げたりと時間があれば常に体を動かしていました。

体を動かす楽しさを他の人にも伝えたいと思うようになり、体育教師を目指すために日本体育大学へ進学。昭和39年の大学3年生のときに『東京オリンピック』が開催され、オリンピック役員としてお手伝いをすることができる機会があり、そこでオリンピックを通じて他国の文化を実感し、ますますスポーツが好きになりました。

大学卒業後は中学校教員となり、定年退職するまで生徒たちに体育の授業を教えてきました。

■現在の活動

来月77歳を迎えますが、現在も中学校の陸上部やバスケットボール部での指導を行っているほか、教育委員会主催のスケート教室の講師として、子どもたちにスケートを教えています。

また、妻とのウォーキングも日課となり、バードウォッチングを楽しんでいるほか、12歳の孫とのサッカーも楽しみの一つとなっています。

スケート教室での様子



笹本先生の歳を聞いてすごくびっくりしました。今年でスケート教室は3年目ですが、先生はいつも優しく上手にスケートを教えてくれます。



スケート教室の現在の教え子の 大場 康巧くん(8歳)

笹本先生とは小学生のとき、スケートリンクで出会い、先生のきれいな滑り方に憧れて、ずっと後ろにくっついて滑っていたのを覚えています。何をやるにも一生懸命で生徒思いの先生でした。



昔の教え子の 坂本 克明さん(63歳)

■子どもたちに伝えたいこと

スポーツを通じて協調性や社会性を学び、なによりスポーツの楽しさやすばらしさを知ってもらいたいと思っており、私が子どもたちを指導するときに常に話している4つことがあります。

- ①継続して取り組むこと
- ②新しいことに挑戦すること
- ③自ら進んで取り組むこと
- ④基礎を大事にすること

これは、スポーツに関わらず、今後成長し、社会人になっても必ず役立つものと考えています。

■今後について

ゲーム機やスマートフォンが普及したことで、子どもたちが体を動かす時間が減り、運動能力が低下しているように思います。そうならないためにも、今後もスポーツすることの大切さを伝えることや、自分自身の生きがいとして体が動く限りスポーツを続けていきたいです。